

東中野駅周辺まちづくり基本方針(たたき台)への意見概要 ①

1. 意見募集の目的と実施概要

東中野駅周辺では、駅舎のバリアフリー化等の課題を解決し、まちの魅力を高めていくためのまちづくりの基本的な考え方を整理する「東中野駅東口周辺まちづくり基本方針」の検討を進めています。基本方針のたたき台をとりまとめ、基本方針検討の取り組みを周知するとともに、地域住民等の皆様から様々なご意見を伺うために、Webアンケート等を実施しました。

2. 意見の整理方法及び公表について

○たたき台で示した5つの方針や東中野らしさ・アピールポイントについて自由記述式で意見を募集し、類似の意見を項目に分けて整理集計しました。
○本概要には比較的多数であった意見を中心に掲載していますが、すべての意見は個人情報の特定につながるような意見等を除き、すべてHPにて公開します。

実施方法	実施日、会場等	回答数／参加者数
オープンハウスの実施	2025年7月12日(土)、東中野区民活動センター	10件／37名
	2025年7月26日(土)、東部区民活動センター	
Webアンケートの実施	2025年6月30日(月)～8月3日(日)	204件／—
町会・商店会等との意見交換会	2025年7月17日(木)、東中野区民活動センター	68件／20名
	2025年7月23日(水)、東中野いこいの家	

【方針① バリアフリー化され誰もが安全に通行できるまちづくり】意見総数 全201件

意見内容の分類	代表的な意見例 (抜粋)
駅のバリアフリー化	<p>○東口駅舎のバリアフリー化を切に願います。時間帯によっては人の流れも多いので、エレベーターだけではなくエスカレーターの設置を希望します。</p> <p>○バリアフリーも大切ですし、東口はベビーカーやお年寄りがエスカレーターもなく、時々スーツケースを持った方が苦労されているのも見受けられますので、改善されると嬉しいです。また階段などもかなり塗装も剥がれて景観もあまり綺麗ではないので、改善されるともっと嬉しいです。</p> <p>○駅の東口はバリアフリー化されていないこともあり、キャリアバッグ持参や荷物が多い時は遠回りでも西側のエスカレーターを目指して行くこともあり、便利さとかげ離れています。車椅子を押した時はエスカレーターにも乗せられないため、坂を押して上がりとても苦労しました。スペースの問題はあると思いますが、エスカレーター、エレベーターの設置を第一に検討頂きたいです。</p>
駅周辺の歩きやすさ、回遊性	<p>○東口駅舎及び駅周辺のバリアフリー化をお願いします。大きな荷物を持って出かける際、JRを避けて、タクシー利用になってます。</p> <p>○大賛成です。早く進めて欲しいです。駅の階段を降りて、ユニゾンモールのデッキに入るまでの通路が狭く、すぐ横が車道なのでいつも怖いです。</p> <p>○東口側は歩道がすくなく車の通行量が多く、また南北の線路の行き来も非常に渡りにくく危ない</p> <p>○東口の北側については、階段の狭さも気になります。南側に比べて狭いため、乗降者がぶつかりそうになっていることが多々あります。同様に、東口の北側については、階段を降りた周辺の歩道等が狭いことも気になります。例えば、ベビーカーを押している方がいたり、傘をさすような雨天時等では人がすれ違うスペースさえない狭い箇所もあります。</p>

【方針② 東中野らしいにぎわいが生まれるまちづくり】意見総数 全180件

意見内容の分類	代表的な意見例 (抜粋)
にぎわい創出、地域交流の場づくり	<p>○イベント(音楽イベントも含む)など開催しやすく高校生から大人まで多くの人と交流ができる多目的スペース</p> <p>○東中野は、学生の乗降客が多く、学校や地域活動との連携を駅周辺で行うことで住民が安心して住める地域になると感じます。</p>
誰もが滞留できる空間の確保	<p>○駅前スペースをもう少しベンチを設置して休憩できたり、街灯を設置するなど、待ち合わせ場所にもなるエリアにして良いと思う。</p> <p>○大きなスペースは不要ですが、少し腰掛けられるようなベンチや椅子、また雨天時に短時間凌げる屋根のあるスペースがもう少し確保できると良いかと思えます</p>
日常に彩りを添える施設の充実	<p>○ファミリー層が求める日常生活に必要な商業施設、文化施設を中心に、開発して欲しい。</p> <p>○若い人が多いので、カフェなど人気なお店がくるのがいいと思います。</p>
駅前商業の活性化	<p>○タワーマンションが3つもあり、住宅街も広がる東口に商業施設が乏しいのは勿体無い。最近新店舗ができていいる商店街と一体化した開発をすると良い。</p> <p>○東中野の魅力として、老舗の個人店が残っていることがある。再開発で新しく商業施設を作る場合も、前述の通り馴染みやすい姿とすべく、よくある駅前のチェーン店舗ばかりの商業施設ではなく、地元老舗や個人店も含めたテナント計画してほしい。</p>
地域の個性や落ち着きが失われることへの懸念	<p>○東中野には「個性的・魅力的なお店」や「盛んな地域活動」といった既存の魅力があります。これらを尊重し、「人と人のつながりを大切に地域性」や「個人が経営する個性豊かなお店が多く区内外問わず来客があり、まちのにぎわいの大切な要素の一つ」となっている、東中野特有の文化を継承・発展させる形での「にぎわいづくり」を目指すべきです。</p> <p>○都会に近くても静かなところが気に入っています。もちろん賑わうことも大事ですが、落ち着いた暮らしと両立できる案がより嬉しいです。</p>

【方針③ 安全で安心して過ごせるまちづくり】に関連して寄せられた意見総数 全138件

意見内容の分類	代表的な意見例 (抜粋)
防災対策	<p>○災害に強い街づくり。また被災しても安全に避難、避難生活できる備蓄や準備が自治体主体でして欲しい。</p> <p>○防災イベントを身近に！日常でも手軽に行えることを増やし、無意識に意識できるように。</p>
緊急時以外の利用	<p>○第3中学校跡地を災害時の対応施設とすることには賛成です。学校建物を利用し、通常は一般人にも開放してカフェやワーキングスペースなどエリアマネジメント活動の場として利用することもできるのではないのでしょうか。花見の時期にはイベントの企画もでき、新たなスポットとして期待もできそうです。</p>
防犯対策	<p>○防災はもちろん、治安の問題、夜でも歩けるような街であってほしい。</p> <p>○今のまま、治安が悪くならないことを祈ります。住宅がたくさんあって、穏やかな雰囲気、女性一人でも歩きやすい街なところが気に入ってます。</p>

東中野駅周辺まちづくり基本方針(たたき台)への意見概要 ②

【方針④ 水辺を活かしたまちづくり】意見総数 全155件

意見内容の分類	代表的な意見例（抜粋）
ベンチ等の休憩スペース	○神田川沿いを新宿区側のような憩いの場所を作ってもらいたい。休憩場所を増やして欲しい。 ○川沿いにベンチや芝生を増やして座れるようにする。
カフェ等のくつろげる場所	○新しくなった新宿中央公園のような、自然とカフェなどが融合した人が集まり、くつろげる場所があると良いと思います。 ○桜の時期だけかなり人が多く来る。目黒川のようにぎわいのためには、カフェ等の商業施設をつくってほしい。
子どもが遊べる公園	○子供が遊べるような公園施設が増えるのは良いと思います。 ○公園を整備することで家族連れが訪れるような場所を作れるとよいかと思います。
神田川沿い遊歩道の改良	○神田川沿いはウォーキングコースとして素晴らしいのですが、ブロックがガタガタして歩きにくいところがあります。時々、つまずきそうになり少し危ないかも ○夜に神田川沿いの道を歩くと、少し薄暗い印象を受けるため、暖色系の足元のライトアップなど、夜に歩きやすい空間づくりをするとさらに水辺を活かせると思う。
みどりと景観への配慮	○新宿区側は豊かな植栽計画がされているにも関わらず、中野区側は景観性に何も配慮されていないので、歩くことはありません。新宿区側を歩いています。
駅から神田川方面への動線	○神田川から日本閣跡地まで続く緑を駅前まで引き込むイメージで、神田川沿いの緑～日本閣跡地の緑(マンションの足元に残していただいた並木)～駅前の緑が繋がると、静かで緑豊かな魅力的な地域になると思います。 ○駅から川が少し離れているので、川まで歩きやすい道路作りをしていただければと思います。

【東中野らしさ・アピールポイント】意見総数 全155件

代表的・典型的な意見等	意見の内容分類
都心近接の交通利便性	○新宿や中野へのアクセスが抜群に良いため、買い物やレジャー、施設利用に非常に便利です。JRと地下鉄の両方が使えるので、行先によって使い分けができる点も大きな強みです。 ○JR、都営、メトロ（落合駅）の三路線利用化な鉄道利便性と山手通りに面した車の利便性が両立している点。
適度にぎわいをつくる個性豊かな個店と地域コミュニティ活動	○昔ながらの個人店。美味しいお店。都心に近いながらも落ち着いている街や雰囲気。 ○昔から続く商店街に活気があり、程よいにぎわいがあるところだと思います。 ○敷居の低い面白い個店・飲食店が多いこと。中野区唯一であり、全国からも人の来る社会派映画館「ポレポレ東中野」や「パオ」「梅若能楽堂」に代表されるように独自の文化をもったお店や施設、町会・商店街があり、それにプライドを持ち育てる人々がいること。 ○東中野には「個性的・魅力的なお店」や「盛んな地域活動」といった既存の魅力があります。これらを尊重し、「人と人とのつながりを大切にす地域性」や「個人が経営する個性豊かなお店が多く区内外問わず来客があり、まちのにぎわいの大切な要素の一つ」となっている、東中野特有の文化を継承・発展させる形での「にぎわいつくり」を目指すべきです。 ○新宿に近いのに騒がし過ぎず、お祭りなどで近所付き合いもあって、都会であり田舎のような人間関係が築けるところではないかなと思っています。
神田川沿いの桜並木などの自然	○都心に近い静かな街。四季折々の風情を楽しめる神田川がある。 ○神田川沿いの桜並木や、山手通りの整備された歩道など、都市の中にも自然を感じられる場所が多く、散策にも適しています。都会に近くても静かなところが気に入っています。
静かで落ち着いた住環境と治安の良さ	○都心に近いアクセスの良さを持ちながら治安が良く落ち着いているところ。 ○都心に近いが静かな住宅地で、人の往来も多過ぎず治安もいい。 ○新宿からの近さ、駅前の買い物の利便性、閑静な住宅街

【方針⑤ 都心に近いながらも良好な市街地が広がるまちづくり】意見総数 全128件

意見内容の分類	代表的な意見例（抜粋）
まちなかのみどりの充実 適正管理	○新築マンションの周辺の寄せ植えのような植樹が四季を感じられ、また、樹木などに名札(植物の種類)につけてあり、とてもよいと思う。緑を増やすと落ち葉対策など維持管理にも充分に費用または手をかけなければならなくなる。住民のボランティア(清掃など)を積極的に活用する仕組みをつくる。 ○新しくできたタワーマンション、パークタワー東中野グランドエアの外構部は、昔からの大木を活かした多種多様なみどりが整備されていて、歩いていて楽しい。東口の駅前も、単品種の樹木が均等に整列した山手通りのような無機質な植栽ではなく、多様性のある緑地化計画をしてほしい。
地区計画による 住環境の維持・向上	○緑化率を設定することが理想ですが、既存の建物が多く難易度が高いと思われれます。防災の観点からも、旧耐震建物の建て替えに伴う、容積率向上と引き換えに緑化計画を合わせるが良いと思います。 ○地区計画では適度な高さ制限も設けていただきたい。
静かで落ち着いた住環境の維持	○便利でのんびりした東中野らしさを残してほしい。 ○現状、都心に近いながら静かな街が広がっていると思います。既存の街を無視した再開発ではなく、今の街の魅力を守りながら、駅前のユニバーサルデザイン化、公共福祉施設の充実、滞留できる緑地空間の整備をしていただきたい思います。